

令和2年度電動生ごみ処理機購入・使用についてのアンケート結果

このアンケートは、本市のごみ減量・リサイクル推進事業に生かす目的で、電動生ごみ処理機を購入された方を対象に、機材の使用状況や生ごみの投入量について調査を行ったものである。

1. 調査対象

令和2年5月から令和3年3月31日までに市の補助金制度を活用し、生ごみたい肥化処理容器を購入した人。

調査対象数 14 件 回収数 14 件 (回収率 100%)

2. 調査方法 郵送または電話聞き取りによる配布・回収

3. 調査時期
- | | | |
|------|--------|---------------------------|
| 12月期 | 令和2年1月 | (令和2年5月から9月までに購入した人を対象) |
| 3月期 | 令和3年3月 | (令和2年10月から12月までに購入した人を対象) |
| 6月期 | 令和3年6月 | (令和3年1月から3月までに購入した人を対象) |

4. 補助金制度の概要

広報おおむた5月1日号で公募。

募集期間は、令和2年5月17日～令和3年1月31日。

先着順で補助金の申込みを受け付け、書類審査後、補助金交付対象者としての登録を行い、補助金交付対象者決定通知書と申請書類等を順次発送した。

購入期限は、決定通知書等の発送日の翌々月の末日として個別に購入期限を設定し、登録販売店での購入期間の最終日は、令和3年3月31日。

【補助額等】…1世帯につき1台まで、購入額の100分の45の額を補助。

100円未満の端数は切り捨てとし、補助額の上限は18,000円。

市に登録した販売店から購入することを条件とした。

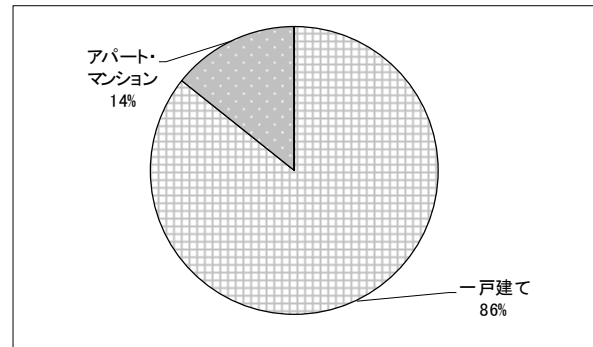
※過去を含め1世帯の交付限度（電動生ごみ処理機1台まで、生ごみ堆肥化処理容器2基まで）を超えないこと、および市に登録した販売店から購入することを条件とした。なお、機材等を購入した日（生ごみ堆肥化処理容器は2基目を購入した日）の属する年度の末日から5年を過ぎての買い替えの場合は再申し込みが可能。

電動生ごみ処理機

≫ あなたの世帯についておたずねします。

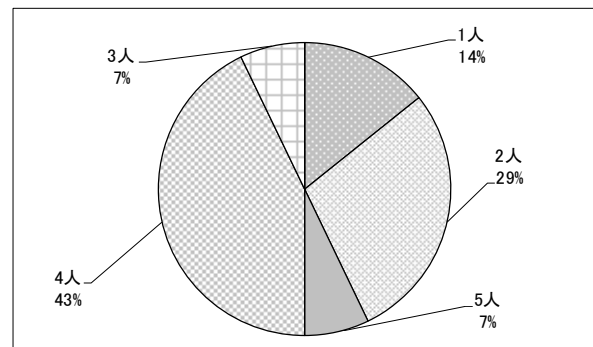
Q あなたの住まいは次のどれですか？

No.		回答数
1	一戸建て	12
2	アパート・マンション	2
3	その他	0
合計		14



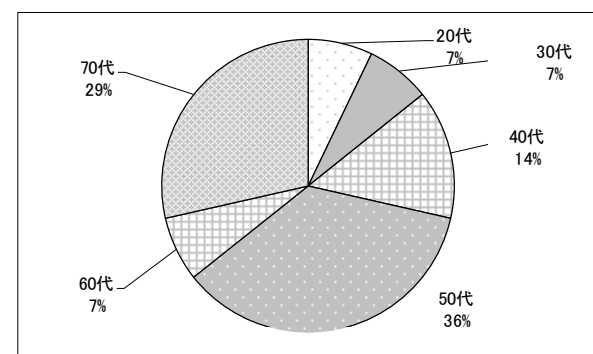
Q 何人家族ですか？

No.		回答数
1	1人	2
2	2人	4
3	3人	1
4	4人	6
5	5人	1
6	6人以上	0
合計		14



Q 補助を受けた方（利用者）の年齢は次のどれですか？

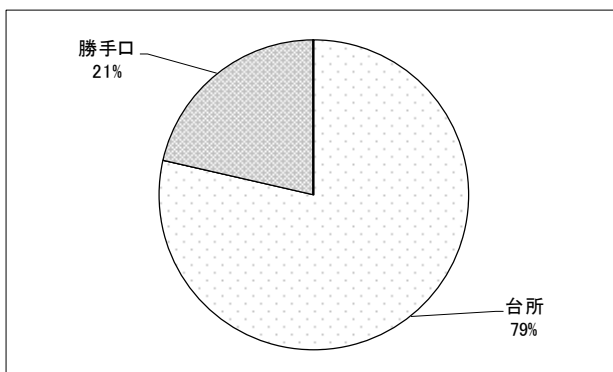
No.		回答数
1	20代	1
2	30代	1
3	40代	2
4	50代	5
5	60代	1
6	70代以上	4
合計		14



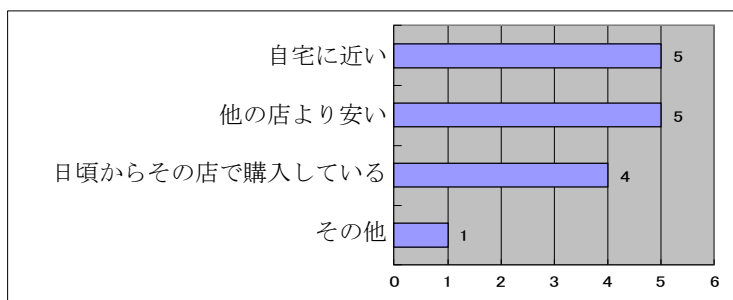
≫ 購入された電動生ごみ処理機についておたずねします。

Q 設置場所はどこですか？

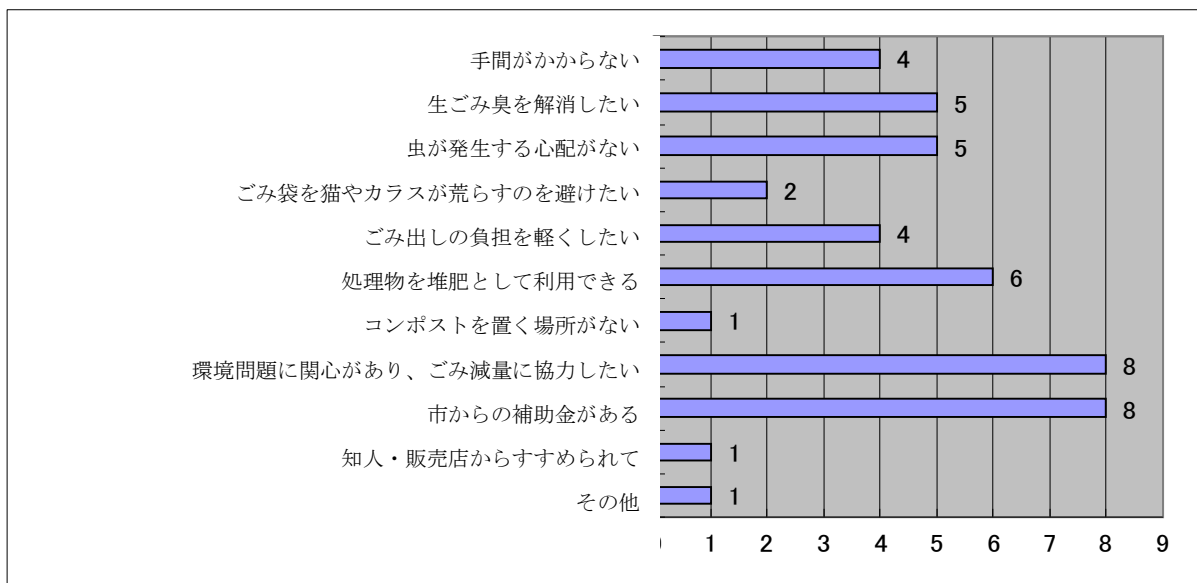
No.		回答数
1	台所	11
2	ベランダ	0
3	勝手口	3
4	車庫・物置	0
5	庭	0
6	その他	0
合計		14



Q 購入する際、どのような基準で販売店を選びましたか？



Q 電動生ごみ処理機を購入した理由は何ですか？



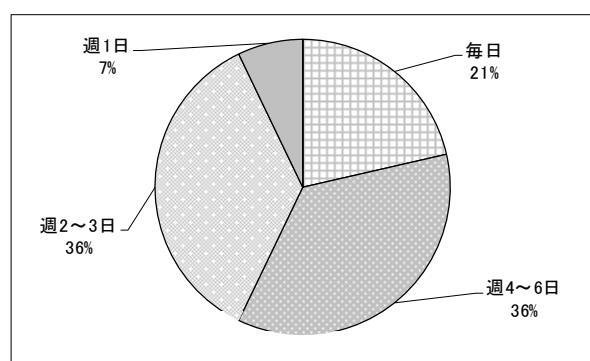
≫ 電動生ごみ処理機の使用状況や感想をおたずねします。

Q 電動生ごみ処理機で処理した生ごみの量は1週間当たり何kgですか？

回答した8世帯の全世帯の回答を集計した結果、
1週間当たりの生ごみ投入量は、合計で約38kg、
これを1世帯あたりに換算すると、約2.7kg でした。

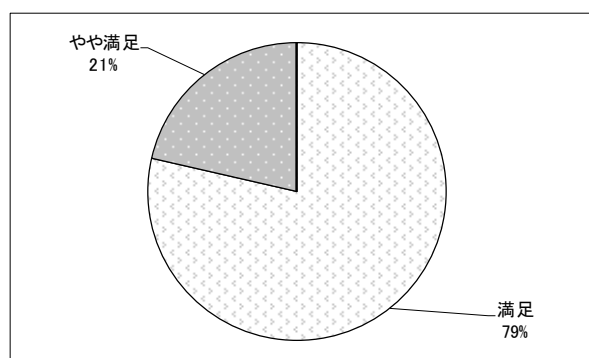
Q 電動生ごみ処理機の利用頻度はどれくらいですか？

No.		回答数
1	毎日	3
2	週に4~6日	5
3	週に2~3日	5
4	週に1日	1
5	ほとんど利用していない	0
6	その他	0
合計		14

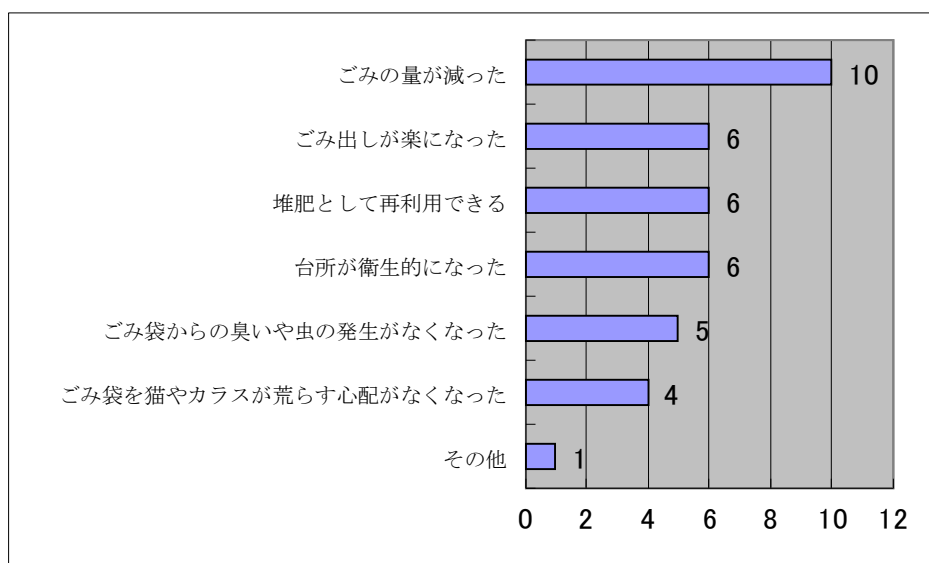


Q 電動生ごみ処理機を实际使用した感想は、次のうちどれですか？

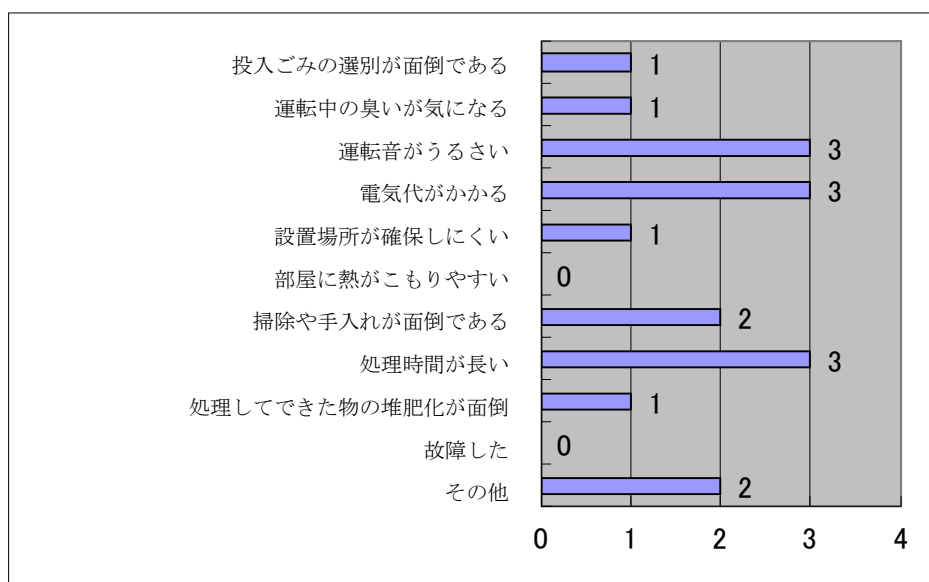
No.		回答数
1	満足	11
2	やや満足	3
3	やや不満	0
4	不満	0
5	どちらでもない	0
合計		14



Q 電動生ごみ処理機を使用して「良かった」と思うのは、次のうちのどれですか？



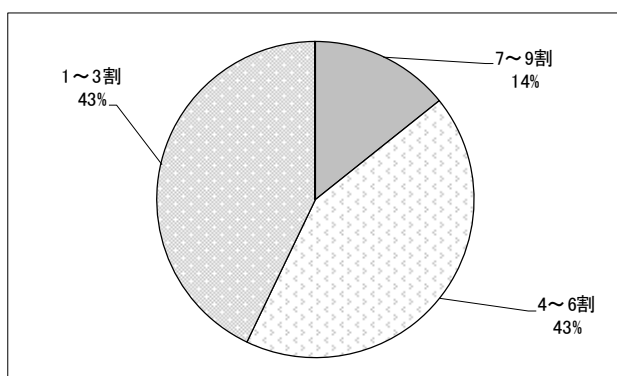
Q 電動生ごみ処理機を使用して「良くない」と思うのは、次のうちどれですか？



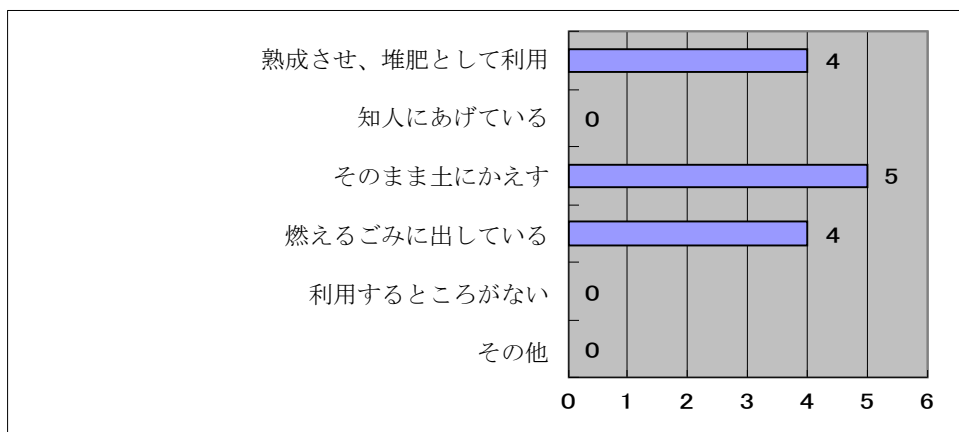
≫ ごみ減量とたい肥化の取り組みについておたずねします。

Q 電動生ごみ処理機を購入して燃えるごみの量は、購入前に比べてどのくらい減りましたか？

No.		回答数
1	10割	0
2	7～9割	2
3	4～6割	6
4	1～3割	6
5	かわらない	0
6	増えた	0
合計		14

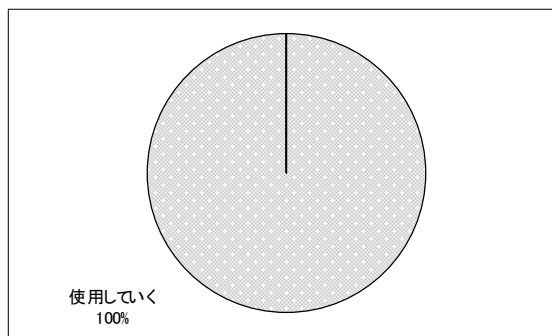


Q 電動生ごみ処理機でできた処理物はどのようにしていますか？



Q 電動生ごみ処理機を今後も継続して使用しますか？

No.		回答数
1	使用していく	14
2	使用しない	0
3	わからない	0
合計		14



Q 今回の補助金事業についてのご意見、または電動生ごみ処理機を实际使用した感想、取り組みの事例などがありましたらご記入ください。

・処理機で処理出来る生ごみが限られており、思ったほどの効果がなく、処理後堆肥化するにも2～3ヶ月程の時間がかかり、予想していたより効果的ではないという印象です。ただ、補助金事業のおかげで生ごみの堆肥化に挑戦させてもらったことは有難く思っており5年後10年後の畑が楽しみです。

・生ごみ処理機を利用しだして、虫（小バエなど）が発生しなくなりとても満足です。またごみの量も減ったので、ごみ出しの回数が減り、大変楽になりました。インターネットで電動生ごみ処理機を調べると、いろんなメーカーから、販売されてましたが、いざ店舗で購入すると、種類が1つか2つしかなく選択肢が少ないのが気になりました。

・補助金があるのは、とても良いと思います。電動生ごみ処理機は音もそんなにうるさくないし、臭いも気になりません。商品の代金が高価なので、だれにでも勧められませんが、と

でもお勧めです。

・10万円相当の品に対して補助金をもっと多ければ、購入する人が増えると思います。

・生ごみは以前の導入からすごく減ったが、現在ごみが少なくなった（燃えるごみ）のはプラスチックごみの分別がとても大きい。プラスチックごみがこんなにあるとは意識していなかった。電動生ごみ処理機は以前に比べて国内メーカーの種類が少なくなったため選択の幅は少なくなってしまった。ごみも水道も電気もなるべく無駄なく使いたいと思うが、みんなが使わなくなると事業としてなりたたなくなっただけで、かえって料金があがったりしないか、よけいな心配をしてしまう。とはいえ、限られた資源を出来る限り再利用、リサイクルする事を考えながら、生活しなきゃいかんのかなと改めて再認識するいい機会になりました。

・『三角コーナーを使わず、生ごみに水をかけない暮らしを提案します』

野菜を処理すると同時に同封の「紙折りの箱に新聞をたたんだものを敷いたもの」に生ゴミを入れていきます。流しで、水がかかり続ければ、いつまでも水分を多く含みますが、紙箱の中の生ゴミは自然とだんだん乾燥していきます。ここで捨ててしまう方は、そのままゴミ袋に入れても汁がたれることはありません。箱が2～3ケたまれば、ゴミ処理機にかけて乾燥させて、とっておき、気が向いたときにまとめて庭に埋めます。

ごみを燃やす燃料の減量につながると思います。自然にかえるもの、かえらないものを瞬時に見分けるのは、慣れれば簡単です。

・本機自体の価格が高いので、補助金額はないより良いが少額であると思います。普及が進めば、生ごみ処理に要する市の出費はもっと減額されるし、モデル都市化されれば行政のレベルアップが出来ることでしょう。よい事で目立つ都市作りに努力して下さい。私の本機の利用法をご紹介しますと、キッチンの脇に100円ショップで購入したザルを置き、水分吸収の古新聞を敷き、野菜果物の皮、魚の頭、内臓、肉類の脂や皮などを区別して分別投入します。ラップや玉ねぎの皮、野菜の包装、ポリ袋などは決してザルには入れません。一日～二日分を裏口に設置した本機に投入します。昼夜を問わず働いてくれます。翌朝開くとまだあたたかいコーヒー色の肥料が完成しています。家庭菜園を別所でしているので他の既成品の肥料と混合し、年から年中丁室に使い果たしています。投入する生ごみは時には、ご馳走のことや固くなったお饅頭も時々あります。肥料として循環が出来るのもったいない感が薄れるのが少しやましい気分にはなりますが、本機のおかげ様で、投入から消化まで、我が家で見届けるので日々嬉しいかぎりです。

・夜の就寝中に使用していますが、処理中の音は思ったよりもとても静かでした。生ごみを入れる部分をまるっと水洗いできるので、掃除も簡単で良いです。